

● Photo sketch ●



10/7 料理は交流の隠し味

日本・インドネシアの国交樹立60周年を祝い、インドネシア人と交流する外務省認定の記念事業が駄知町で行われました。

市内や近隣市に住む、インドネシア人やマレーシア人、日本人など約50人が参加。ニンニクを効かせたナシゴレンや、黒砂糖を使ったおやつのクルポンなど、同国の家庭料理5品を一緒に作り食べました。参加者は「今日は、家族のような雰囲気の中で過ごせて楽しかった」と笑顔で話してくれました。



10/10 収穫の喜び、早く食べたい!

下石小学校の5年生74人が、米作りを体験し農業への関心を高めようと、6月に自分たちで植えた苗が実ったこの時期、稲刈りを行いました。

児童らは、地域の方から鎌の使い方や稲の束ね方などを習うと、慣れない作業に苦戦しながら協力し合って作業を進めました。体験を終えると「農作業は大変だったけど、自分たちが育てたお米を早く食べたい」と秋の实りを喜んでいました。



10/11 いつまでも白く輝く歯でいよう

歯の優良児童審査会が保健センターで行われ、市内8校の小学生から選ばれた6年生15人が審査に臨みました。

歯の状態や歯並び、歯のかみ合わせ、磨き残しの有無などを歯科医師が審査した結果、最優秀賞には、土本^{あいら}さん(土岐津小)と水野^{みづの}さん(泉西小)が選ばれました。

受賞した児童は、「今後も隅々まできれいに磨いていきたい」と白い歯を輝かせて話してくれました。



10/12 名人から学び、未来へつなごう

泉小学校で、各業界で活躍するプロの生き方や考え方を学び、自分の人生につなげようとする「名人学習」が行われ、5年生116人が受講しました。

車の名人として招かれた中部自動車大学の講師は、「自動車と環境」をテーマにエコカーを製造する理由や、最新の技術などを分かりやすく説明。

運動場には、燃料電池自動車(FCV)も登場し、児童らは「実物を間近に見ることで、聞いていた仕組みが良く分かった」と学びを深めていました。



9/21 目指せ入賞! 気合い十分

福井県で開催される第73回国民体育大会(9月29日~10月9日)と第18回全国障害者スポーツ大会(10月13日~10月15日)に出場する選手の激励会が市役所で行われました。

両大会には陸上、ゴルフ、馬術、ウエートリフティング、ボウリングの5競技に7人が出場。選手の皆さんは「緊張すると思うが楽しんで戦いたい」「自分が出せる精一杯の力を出して入賞したい」など意気込みを話してくれました。



9/25 今日から好感度アップ!

肥田中学校の2年生が、各事業所での職場体験を行うに前に、好感度の高いあいさつの仕方や言葉遣いなど、社会人としてのマナーを身に付けるための講座が同校で開かれました。

講師は、第一印象は2~3秒で決まってしまうことなどを説明。普段の生活からマナーを意識することが大切と伝えました。生徒らは、お互いに身だしなみや、あいさつの姿勢・発声なども確認し合い、「マナーは社会のどの場面でも必要。大切にしたい」と本番に向けて意気込んでいました。



10/1 本物に触れて心豊かに

プロの本格的な音楽に触れようと、妻木・濃南小学校の2校で、セントラル愛知交響楽団の管弦楽アンサンブル(合奏)による公演会が開かれました。

演奏された曲はモーツァルトの有名曲「小夜曲」や、運動会のBGMでおなじみのオフエンバックの「天国と地獄」など数曲。弦楽器・管打楽器などの音色の紹介も行われました。児童らは「リズムがよく大迫力だった」「コントラバスの音が体に響いた」など目を輝かせながら話してくれました。



10/6~7 のんびりと心ゆくままに

駄知どんぶりまつりが2日間にわたり開催され県内外から多くの来場者でにぎわいました。

旧駄知線沿いにテントを連ねたフリーマーケット「だちせんマルシェ」では、手作りアクセサリなどが販売され行き交う人を楽しませていました。「窯元蔵出しめぐり」では、窯元の工房を開放し一点物など自慢の品を販売。来場者は「まつりを楽しみに兵庫県から来た」「この窯元のファン」などと話し、ゆったりとした雰囲気で品定めをしていました。